

脱炭素化に向けた ユーグレナとの 連携協定締結

リサイクル都市推進課

(株)ユーグレナと連携協定を締結(予定)

中四国の自治体では広島に次いで2番目

～サステナブルな社会をつくる～

協定内容

- ①循環型社会の地方都市モデル構築
- ②カーボンニュートラルの推進
- ③バイオ燃料の普及啓発

次世代バイオディーゼル燃料で脱炭素



松江市



調印式および給油式

日時：10月15日（日）午前10時

場所：市役所1階ロビー

出席者：(株)ユーグレナ 出雲 充 代表取締役社長
松江市 上定 昭仁 市長

(株)ユーグレナ

- 代表者 出雲 充 代表取締役社長
- 本 社 東京都港区芝5-29-11
- 2005年に世界で初めて微細藻類ユーグレナの食用屋外大量培養技術の確立に成功
- 微細藻類ユーグレナ・クロレラなどを活用した食品・化粧品、バイオ燃料の製造開発、遺伝子解析サービスの提供
- ユーグレナ・フィロソフィーとして「Sustainability First」を掲げ、サステナビリティを軸に事業を展開

ユーグレナのバイオ燃料事業

- 世界中で石油燃料に代わるバイオ燃料が注目
- その需要は年々世界中で増加（原料である使用済食用油も高騰）
- ユーグレナは、2018年、横浜市に実証プラントを竣工
- バイオ燃料の導入事例はこれまでに累計84件以上（2023年6月末）
- 現在、マレーシアでの商業プラント建設を推進



ユーグレナの次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」

- 原料は、使用済食用油などのバイオマスを使用
- 従来型のバイオ燃料とは異なり、市販軽油と同じ構造であり、エンジンへの負荷や悪影響を与えない



【使用実績】

- 隅田川の屋形船
- 「サンフレッチェ広島」の選手送迎バス（JR中国バス）、都営バス、路線バス（西鉄バス）
- 「石垣島マラソン」の先導車両
- 配送用トラック（北海道苫小牧市）

「サステオ」を清掃収集車に使用（山陰初）

- 海岸漂着ゴミや古紙回収に使用する清掃収集車に使用
- 自然保護、資源保護と同時に石油燃料の使用を抑える取組み

「クリーンまつえ」で使用をスタート

- 10月15日、市民による清掃活動「秋季クリーンまつえ」を市内各所で実施（春秋・年2回）
- 集まったゴミは、清掃4組合（家庭ごみ収集業務を受託）がボランティアで回収
- この収集車4台に「サステオ」を給油し、環境美化と同時にカーボンニュートラルへの取組みを啓発



※写真はイメージです

松江市とユーグレナとの今後の連携（予定）



松江市

×

ユ-グレナ[∞]

いきる、たのしむ、サステナブル。

- リサイクル処理施設内でのバイオ燃料の使用を検討
CO2排出量を削減しながらリサイクルを推進
- バイオ燃料の原料「廃食油」回収への取組み
廃食油の回収・再利用により、ごみの減量化・
バイオマス資源を有効利用

脱炭素化と環境美化の両立による

サステナブルな地域社会の実現をめざします